

幻想的な銀世界へようこそ！ 十和田湖冬物語開幕

2月7日、十和田湖畔休屋特設イベント会場で、北東北最大級の雪祭り「十和田湖冬物語」が開幕しました。会期は3月2日まで。「ねぶたと竿灯」がテーマのメイン雪像や青森・秋田両県の郷土料理が味わえる「ゆきあかり横丁」、カクテルやお酒を堪能できる「かまくらBar」や「酒かま蔵」が設置されています。また、期間中毎日午後8時から花火が打ち上げられ、冬の十和田湖を美しく彩っています。



メイン雪像のステージでは津軽三味線ライブや郷土太鼓の演奏などが行われました

十和田湖の地ものを使った商品開発 「十和田湖地もの屋」スタート

このたび、十和田湖畔休屋のもりた商店・森田一成さんの呼び掛けで集まった十和田湖畔の若手事業者により、十和田湖地もの加工プロジェクト「十和田湖地もの屋」がスタートしました。現在、「十和田湖畔農園」を立ち上げ、畑を耕して農作物の生産なども行っています。森田さんは「原点に戻って、十和田湖にある地ものを使って加工や商品開発を行い、土産物を増やしていきたい」と、意欲を示しました。



十和田湖地もの屋の商品をPRする（写真左から）伝法川魚店の伝法良輔さん、森田さん、きむら家の木村満さん

現代美術館開館5周年記念企画第3弾 SANAA（サナア）展開催

2月1日、十和田市現代美術館で開館5周年を記念した企画展第3弾「SANAA展」が始まりました。会期は3月30日まで。「SANAA」は、建築家・妹島和世さんと現代美術館を設計した建築家・西沢立衛さんとのユニットで、今回の企画展では、SANAAとしての活動や妹島さん・西沢さん個人のプロジェクトを一堂に紹介しています。今後、企画展に関連したイベントが行われます。詳しくは、現代美術館☎1127まで。



世界中で手掛けてきた美術館建築を中心とした約40点の模型やドローイング、映像が展示されています

日本三大開拓地小学生交流事業 矢吹町・川南町の児童が冬の十和田を満喫

1月31日から2月3日にかけて、日本三大開拓地として、交流を行っている福島県矢吹町・宮崎県川南町の児童ら約50人が当市を訪れ、地元児童らと一緒に開拓の歴史を学んだり、スキーを体験したりして交流を深めながら、冬の十和田を楽しみました。

参加した押川冬哉くん（川南小・6年）は「今回の交流で友達がたくさん増えました。大人になってもまた会いたいです」と、笑顔を見せていました。



「楽しみ」と話していたスキー体験。最初はスキーの扱いに苦労していたものの、最後は上手に滑れるようになりました